

報道関係 各位

2018年5月25日

「事業創造力」を身に付けるための体験教育。
未来価値創造ワークショップで、実社会での活躍につながる授業を展開。
～経営学部伊藤ゼミナールと博報堂グループ企業による産学連携授業～

経営学部経営学科・伊藤ゼミナール（准教授：伊藤智久、以下 伊藤ゼミ）と、博報堂グループの株式会社 SEEDATA（本社：東京都港区、代表取締役：宮井弘之、以下 SEEDATA）による新事業のアイデア創出ワークショップ「未来価値創造ワークショップ」が行われ、同社ウェブサイトでも紹介されました。

伊藤ゼミでは、Meisei Entrepreneurship Program と題して、“未来を描き、未来をつくる”をモットーに、「事業創造力」を身につけるための体験教育に取り組んでいます。

2018年度からは、未来のアントレプレナー／イントレプレナーを育成するための体験教育プログラムを開始しました。本プログラムでは、(1)SEEDATA と連携した「未来価値創造ワークショップ」を皮切りに、(2)「バイトル」などのサービスを提供しているディップ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：富田英揮、以下 ディップ）と連携した「リーン・スタートアップ実践」、(3)日野市役所と連携した「データ活用ワークショップ」などに連続して取り組みます。産学公が連携し、実践的な事業開発を体験を通して学べる大変魅力的なプログラムで、伊藤ゼミの中心的な活動です。

【未来価値創造ワークショップとは】

2018年4月には、Meisei Entrepreneurship Program の一環として、伊藤ゼミと SEEDATA 共同による「未来価値創造ワークショップ」を3日間に渡って開催しました。

SEEDATA は、先進的な消費者群（トライブ）のリサーチデータを起点に、新規事業・新サービスの立案から実装をワンストップで行うことを強みとしています。

本ワークショップには、伊藤ゼミの3年生17名が参加し、SEEDATA のトライブ・リサーチによる未来価値の洞察やメタファーによるアイデア創造、ビジネスモデルの方法論を学びながら、1人1案の新事業アイデアを作成しました。伊藤ゼミの学生たちは、SEEDATA の方々のサポートのもと積極的に取り組み、新事業アイデアを作成し発表しました。

【ディップ株式会社との産学連携に続く】

未来価値創造ワークショップで作成したアイデアは、今後の伊藤ゼミの活動「リーン・スタートアップ実践」において試作品を開発し、市場性や実現可能性を検討した上で、最終的にビジネスプランとしてまとめます。

リーン・スタートアップ実践では、伊藤ゼミとディップによる産学連携の活動を行い、実践的な事業創造に取り組みます。ディップは主力事業である「バイトル」のほか、学生起業家スター

トアップ育成プログラムである「UNIV.accelerator」や人工知能分野のアクセラレーションプログラムである「AI.accelerator」など、起業家支援にも取り組んでいる企業です。学生たちはディップの事業開発の専門家たちの支援を受けながら、画期的な新事業の創出を目指します。

今回の産学連携授業の特徴は、SEEDATA との取組みで生まれたアイデアを、実際の事業創造につなげていく連続したプログラムにあり、学生は、複数の企業や公的機関との接点を通して、社会とのつながりを実感することができます。「体験教育の明星」を体言するプログラムとして今後もご期待ください。

▼SEEDATA 小尻恭平氏によるオリエンテーション



▼トライブ・リサーチをもとにした未来価値の検討



▼新事業アイデアシートの作成



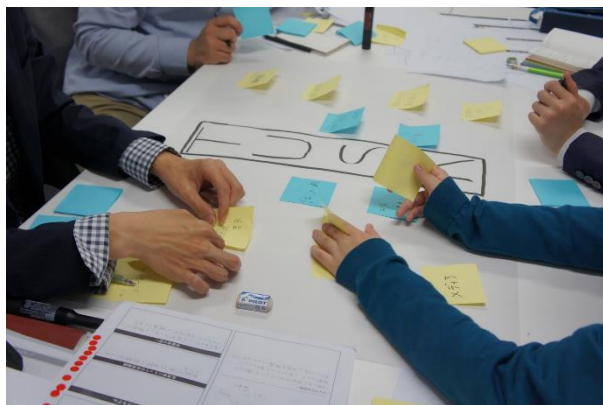
▼新事業アイデアの3分ピッチ



▼新事業アイデアのマッピングと絞り込み



▼ビジネスモデルの表現



▼未来価値創造ワークショップ終了後の集合写真



▼ディップの次世代事業準備室・進藤圭室長によるオリエンテーション



▼オリエンテーションに聞き入る伊藤ゼミの学生



▼オリエンテーション後の質疑応答



【関連リンク】

SEEDATA ニュースリリース (URL)
SEEDATA (<https://seedata.co.jp/>)
ディップ株式会社 (<https://www.dip-net.co.jp/>)
日野市役所 (<http://www.city.hino.lg.jp/>)